

そよかぜ通信

第256号

発行

2021年10月

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団
知的障害者援護施設そよかぜ 施設通信
〒182-0032 調布市西町290-4

TEL 042-481-7663

FAX 042-481-7074

URL <http://www.jigyodan-chofu.com/soyokaze/>



ホームページではカラーで掲載しております。是非ご覧下さい。

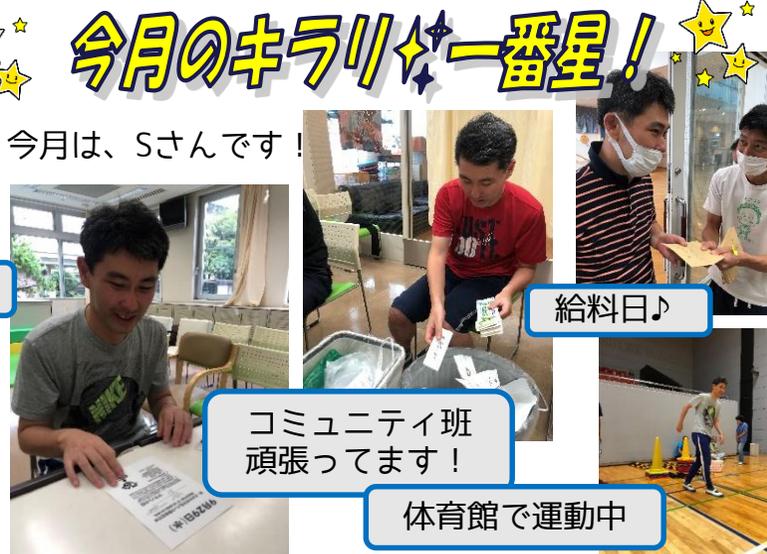
活動のーコマ写真館 ー ～ パラアート展 行ってきました! ～



2021年9月1日
調布市文化会館たづくり
南北ギャラリーにて



学習活動



今日は、Sさんです!

コミュニティ班
頑張ってます!

体育館で運動中

給料日♪

Mさんが退所されました



またいつか
会いたいね!

すすかけフェスタのお知らせ♪

今年度は10月中の平日に分散し、以下の内容をすすかけイベントとして実施する予定です！感染症対策をしっかり行った上で、密を避け、事業所単位、小グループで楽しみたいと思っております。申し訳ありませんが、ご家族、地域の方々の参加はご遠慮いただいております。ご了承ください。



運転手さん交代します

澁谷 稔

短い間でしたが、大変お世話になりました。そよかぜの皆様からたくさんの笑顔頂きました。とてもご親切に接して下さいありがとうございました。コロナに負けずに一人一人が元気に笑顔で通所されますよう心より願っております。

鈴木 直樹

出身地) 調布市
趣味) プラモデル・ドラム
好きな食べ物) 食用菊
好きな歌手) 因幡 晃
よろしく願います。

2021パラアートTOKYO第8回国際交流展

Mさんの作品「レッド」が審査を通過され展示されることになりました。

期間：R3年10月13日(水)~17日(日)
時間：10:00~18:00

(初日11:00オープン/最終日14:00まで)

場所：東京芸術劇場ギャラリー(最寄り駅：池袋)

バーチャルギャラリー

<http://virtualgallery.paraart.jp/2021/>



そよかぜとはこんなところ

そよかぜは、知的に障がいのある18才以上の方が自宅やグループホームから平日の日中に通所し、午前には織物、陶芸等の作業、午後は運動や学習、クラブ活動などの各種の活動をして、地域で地域の社会資源を使いながら生活を送る為の通所施設です。



職員リレーコラム！明日は明日の風が吹く?!

時原 信子



毎年、8月末から9月に交換をお願いしている災害用薬はどのように取り扱われているの？と思っている方もいるかもしれません。そこで簡単ではありますがご説明させていただきます。

まず、各ご家庭から災害用薬が医務に集まってきます。それを1回分ずつ小袋に分け、さらに1日分ずつの袋に入れます。(1回分ずつ分けて入れてくださるご家庭もあり、助かっています)そして1人分ずつの袋に入れ、薬の説明書を入れます。この作業を1人分ずつ繰り返した後、災害用薬の袋に入れ、薬を預かっている方の氏名を表にします。災害用薬の袋の中に乾燥材を入れ、緊急持ち出し袋の中に入れ災害時すぐに取り出せるようにしておきます。

災害時には同封してある薬の説明書に沿って、再度、職員同士で確認の上、与薬していきます。

お薬はパッケージから出していない錠剤を想定して1年に1回交換をお願いしています。

特殊なお薬や、混包してある薬、散剤、水薬等1年持たない薬もありますので、薬局にお問い合わせいただき、有効期限が1年未満のものに関しては時期を見て差し替え分をお持ちくださるようお願いしています。

時々、朝、服薬を忘れていたりした時に災害用薬からとの声もあり、災害時以外にも利用させて頂いております。

今後ともご協力よろしくお願い致します。

